

「スマートメーター」

Smart Meter

関連用語

- Aルート、Bルート
- HEMS

アナログ式誘導型電力量計(円盤を駆動させ、回転力を発生させて数値を更新する)と異なり、電圧、電流をデジタル変換し、電力および電力量を計測するとともに、メーター内に通信機能を持たせ、外部とやり取りを可能にした電力量計です。電力以外に、ガスメーターや水道メーターも含んで通信機能を持ったメーターもこの範疇に入ることがありますが、主に電力メーターをさすことが多いようです。

エネルギーの使用の合理化等に関する法律により、スマートメーター導入と電気の需要の平準化を促す料金メニュー等に関する計画を作成・公表することが規定されたため電力会社はその導入計画を公表し、急速にスマートメーターの設置が進んでいます。2020年3月末の導入台数は、全国で6,105万台(75.2%)※となっています。(※第1回次世代スマートメーター制度検討会 資料2)

主な機能(電力計測用)

■ 自動検針

30分ごとの電力使用量を通信回線を利用して電力会社に送信(Aルート)*1
することができ、検針員による検針作業が不要となるほか、電力使用量の見える化が図れる。

■ リモート接続・切断

通信機能を活用して管理拠点からのリモート接続・切断が可能になる。

■ HEMSコントローラーとの連携

通信機能(Bルート)*2を利用し、家庭内ネットワークを介し、HEMSコントローラーと通信し、使用電力の可視化により、需要家の省エネ行動誘導に役立てることができる。



○ アナログメーター



○ スマートメーター